

第 55 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	村澤ゼミ	チーム名	松本ぐんだん
タイトル	音楽の好みについて分析		
テーマ群	g) その他		
メンバー	松本 幸亮		
研究計画内容	【研究背景】 音楽の好みは人によって十人十色だ。しかし、十人十色といっても好みのジャンルによってその人の様々な特性がそこから見えてくると考えた。８０年代、ロックや移民によって生まれた音楽に一部の特性の人たちは興味を示さなかった。しかし、９０年代になると彼らは以前に比べて雑食的になっていると感じた。 【研究内容】 Survey of Public Participation in the Arts を使い８０年代から９０年代にかけてアメリカのどのような国民がどのようなジャンルの音楽を好むかを回帰分析によって論じる。この調査では様々なジャンルの音楽についての調査が行われている。また、その期間において好み方にどのような変化が起きているのかを確認する。 【期待される効果】 この研究により好みの音楽によってアメリカの国民性、格差などを図る一つの指標になる。また、社会構造、価値観、アートワールド、世代間対立の変化などを知る手助けになる。 【参考文献】 Peterson, Richard A., and Kern, Roger M. “Changing Highbrow Taste: From Snob to Omnivore” American Sociological Review, 61(5), 900-907 1997		